リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業におけるICT活用②

６年生による授業実践　国語科「みんなで楽しく過ごすために」（光村図書）

ねらい　運動会の表現演技、団体競技をどんなものにするか、「主張・理由・事例」をもとに話し合う活動を通して、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたり深めたりすることをねらいとしている。

総合的な学習の時間や学校行事と関連付けた一人一人の課題設定

総合的な学習の時間で、運動会の表現演技、団体競技について話し合う課題意識をもたせるために、パワーポイントを活用した。また、表現演技、団体競技のどちらについて話し合いたいかを選択させ、子供たち一人一人が課題設定を行えるようにした。教科横断的な視点での単元づくり、子供一人一人の課題意識に合わせた課題設定を行うことで「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図った。

Googleスプレッドシートを使った振り返り

振り返りの充実を図るため、Googleスプレッドシートを活用した。話し合いに参加した子供、その話を観察した子供、それぞれの立場から話し合いを振り返り、全員が同一シートで編集を行うことで、振り返りの共有を図った。学力低位の子供への支援、自身の考えの変容に気付くことにつながった。

授業実践による成果と課題

成果

・総合的な学習の時間や学校行事との関連を図ることで、児童の課題意識を高め、一人一人が自身の学習課題を明確に持つことができた。
・Googleスプレッドシートでの同一シートの共同編集機能を用いることで、振り返りの共有・充実を図ることができた。

課題

・話し合い活動では、話し合った内容が目で見える形で残らないため、そこでICTをうまく活用できる方法を模索したい。